

復習シート 第五学年 国語



組
番号
名前

模範解答

【指示語の働きを理解する問題】

- 1 次の一と二の——部の言葉は、何を指していますか。あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。 **レベル4・5**

一 今日、わたしは、父に本を買ってきてもらいました。これは、前からほしかったものです。

- 1 今日
- 2 父
- 3 本
- 4 買ってきてもらったこと

3

「これ」「それ」「あれ」「どれ」などを「こそあど言葉」といいます。文章中で、前後に出てくる言葉や文を指すこともあります。 「これ」「それ」の前の文から、指す言葉を探し、当てはめて文に合っているか、考えてみましょう。

二 人には、それぞれの考え方がある。自分の意見をおし通していやがられるのはそのためだ。だからといって、人の意見に従^{したが}ってばかりではつまらない。おたがいの考えをたいせつにすべきだ。それさえできれば、わたしたちはおたがいを認め合^{みと}って話し合うことができるはずである。

- 1 人には、それぞれの考え方があること
- 2 自分の意見をおし通すこと
- 3 人の意見に従うこと
- 4 おたがいの考えを大切にすること

4

【修飾と被修飾の関係を正しく理解する問題】 **レベル7・8**

（平成十九年度 全国学力・学習状況調査）

- 2 次の文の——部の言葉は、どの言葉をくわしくしていますか。 () に書きましよう。

——部の言葉は、修飾語といい、文の意味をくわしくする言葉です。(1) 赤いのは何か、(2) 毎朝、何をするのか、(3) 友達の何なのかを考えてみましょう。

- (1) 赤い かさを さしている 女の子は わたしの 姉です。 (**かさを**) (**かさ**)
- (2) ぼくは 毎朝 近くの 公園で 弟と 走っています。 (**走っています**)
- (3) 友だちの 大きな 声が 教室から 聞こえた。 (**声が**) (**声**)